

天水越の衝撃

「睨む守護 嗤う守護代」

今から五百十二年前の夏、越後の守護上杉房能は

何故松之山天水越に逃げ、何故自刃するに至ったのか。

松之山で七百年の歴史を刻む村山家の旧主屋で

あなたも思いを巡らせては——。



管領塚 (かんりょうつか)

旧松里小学校の校庭の隅に上杉房能公自刃之跡石柱とともに建っています

令和元年

9月14日(土)

入場無料
※要事前申込

時間 13:00~14:30

会場 大棟山美術博物館

(十日町市松之山1222番地)

定員 70名 申込締切 9月10日(火)



大棟山美術博物館(十日町市指定文化財「旧村山家 主屋・表門」)

講師



渡辺 れい 氏
(作家)

昭和36年新潟市生まれ
新潟南高校・花園大学文学部史学科卒
平成18年に小説「峠」で新潟日報文学賞受賞

■主な著書

『武者たちの黄昏』
『最後の決断 戊辰戦争—越後四藩の苦悩』
『維新の墓標 昔々 北越戊辰戦争で』
(いずれも新潟日報事業社)

申込み・問合せ

大棟山美術博物館 ☎025-596-2051
[受付時間] 9時~16時

十日町市教育委員会委託事業(文化財活用による地域振興事業)